

漢方医学夏期学生セミナー

Ⅱ

平成 23 年 8 月 23 日(火)

於：昭和大学 1 号館 5 階

主催 財団法人 日本漢方医学研究所

後援 社団法人 日本東洋医学会

消化器の漢方治療

漢方医学夏期学生セミナー 2011年8月23日(火)

慶應義塾大学医学部漢方医学センター
渡辺 賢治

基本的な漢方は憶えよう

食欲不振

食欲不振に使う漢方薬

補中益気湯	食欲をつけて、体力を取り戻す
清暑益気湯	夏ばての特効薬
人参湯	冷えを伴う胃腸虚弱者

胃もたれ・胸焼け

胃もたれに使う漢方薬

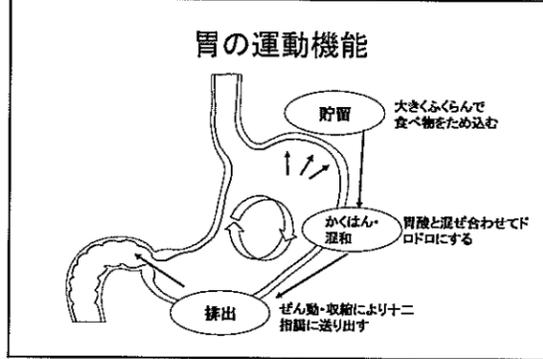
六君子湯	胃もたれ、膨満感
茯苓飲 茯苓飲合半夏厚朴湯	胸やけを伴う場合
半夏瀉心湯	食べ過ぎや二日酔い、 頭痛がある場合

ローマⅢ分類による機能性ディスぺプシア (Functional Dyspepsia :FD) の定義

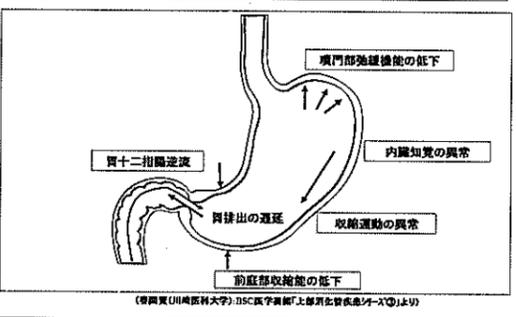
B1. 機能性ディスぺプシア(FD)の診断基準
項目1のうちの1つ以上と、項目2の両者を満たす

項目1	項目2
a. 辛いと感じる食後のもたれ感	上部消化管内視鏡検査などにて症状を説明可能な器質的疾患がない
b. 早期飽満感	
c. 心窩部痛	
d. 心窩部灼熱感	

以上が、半年以上前からあり、少なくとも最近3ヶ月に上記診断基準を満たす



機能性ディスぺプシアにおける胃の運動機能異常



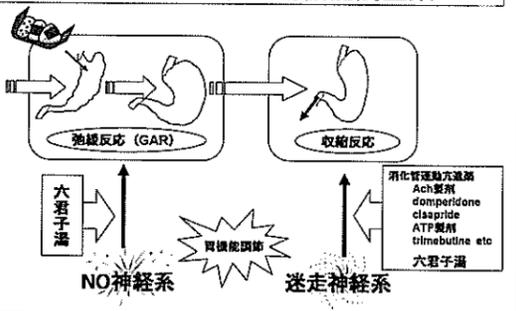
六君子湯 出典: 万病回春

■効能又は効果
胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症:
胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐

■組成

朮	4.0g	大棗	2.0g
人參	4.0g	陳皮	2.0g
半夏	4.0g	甘草	1.5g
茯苓	4.0g	生姜	0.5g

胃運動と消化管運動機能調整薬



六君子湯の効果

- 胃の貯留機能を改善
→ 排出機能も改善
- 食欲刺激ホルモン(グレリン)を活性化
→ 食欲増進
- 胃の血流を改善 → 胃粘膜保護

胃痛

胃痛に使う主な漢方薬

柴胡桂枝湯 四逆散	ストレス性の場合
安中散	胃酸の分泌が多い場合
人參湯	冷えを伴う場合

便秘

主な便秘薬の種類

腸を刺激するタイプ	・大腸の粘膜を刺激し、腸のぜん動運動を促進 ・腹痛が起きやすい
便をやわらかくするタイプ	・水分で便をやわらかく大きくし、腸を刺激してぜん動運動を促進
浣腸・座薬	・直腸を刺激したり、腸内に炭酸ガスを発生させて腸の動きを活発にする

漢方の下剤 大黄・芒硝

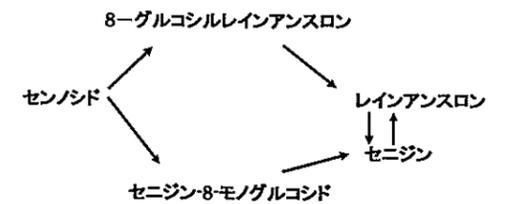
大黄 腸管蠕動運動の促進
センノシドA



芒硝 塩類下剤(便内容物増量)
結晶破壊マグネシウム



大黄の腸内代謝

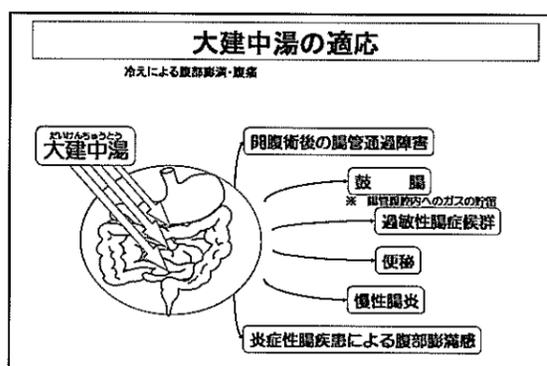
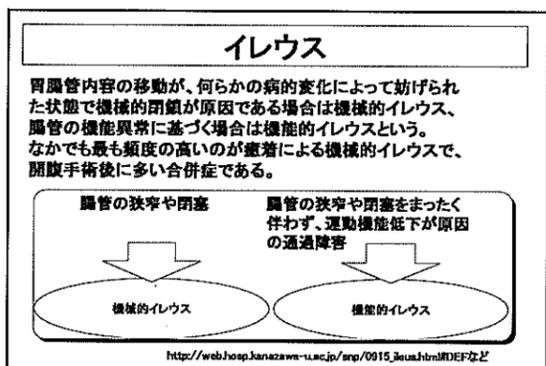
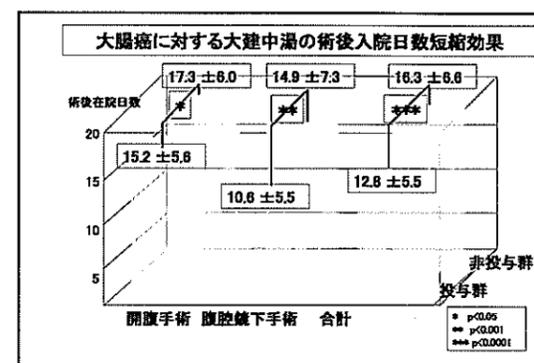
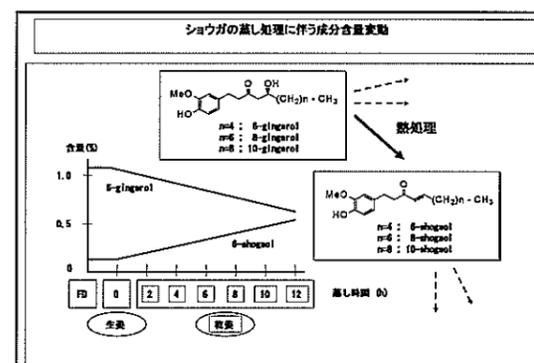


実証の便秘に適した漢方薬

大黄	大黄甘草湯	一番基本的な処方
	大柴胡湯	肩こりや上腹部がはる場合
	三黄瀉心湯	のぼせ、イライラ、不眠を伴う場合
芒硝	桃核承気湯	月経不順を伴う場合
	防風通聖散	肥満やむくみを伴う場合

虚証の便秘に適した漢方薬

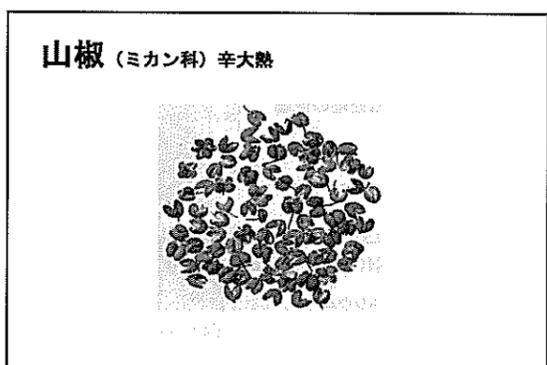
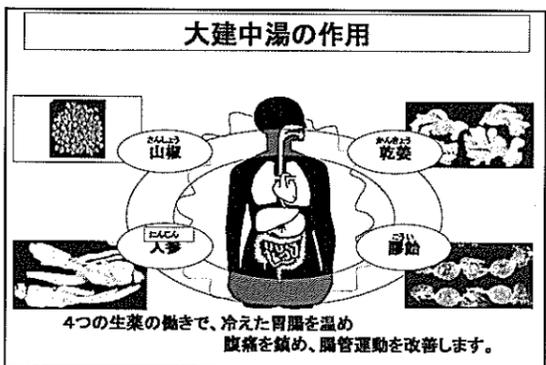
大黄含む	桂枝加芍薬大黄湯	過敏性腸症候群の便秘
	麻子仁丸 潤腸湯	ウサギのフンのような便が出る場合 (特に高齢者)
大黄なし	桂枝加芍薬湯 小建中湯	便秘と下痢を繰り返す 過敏性腸症候群
	大建中湯	腹痛や手足の冷え、おう吐を伴う場合



下痢・過敏性腸症候群

下痢に使う主な漢方薬

真武湯	高齢者や冷えて下痢をする場合
大建中湯 中建中湯 小建中湯	冷えて腸のはたらきが悪くなっている場合
半夏瀉心湯	実証の人でお腹がゴロゴロと鳴る場合



過敏性腸症候群の主な漢方薬

芍薬 過剰な腸のぜん動運動や腸の緊張を和らげる

桂枝加芍薬湯	体力がなく胃腸の弱い人 (虚証の人)
小建中湯	虚証の人、小児

漢方を飲むと元気になる

何故？

腸管の働き	
300㎡・テニスコート1.5面 皮膚の200倍	
最大の免疫組織	全リンパ球の60%
最大の末梢血管組織	微小血管の55%
最大の末梢神経組織	末梢神経の50%
最大のホルモン組織	神経ペプチド

漢方薬の成分

① 低分子成分
そのままの形で吸収される成分

② 天然プロドラッグとして働く成分
胃酸耐性で腸に達した後、腸内細菌によって修飾を受けた後始めて吸収される。

③ 多糖成分
漢方薬を煎じた後に沈殿物として認められるもの。

低分子成分

エフェドリン(麻黄)
ペオニフロリン(芍薬)
ショーガオール(生姜)

血中濃度のピークは1時間以内に迎え8時間でほぼ消失する。

天然プロドラッグとして働く成分

グリチルリチン(甘草)
センノシド(大黄)
バイカリン(黄芩)
ゲニポンド(山梔子)

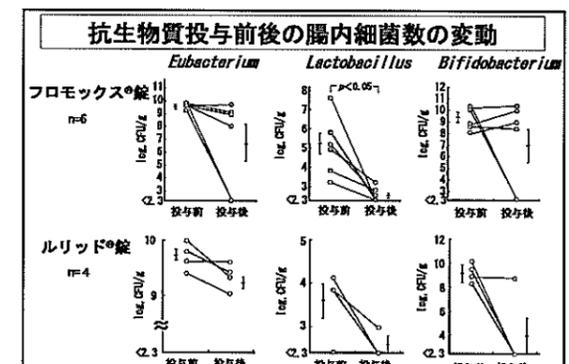
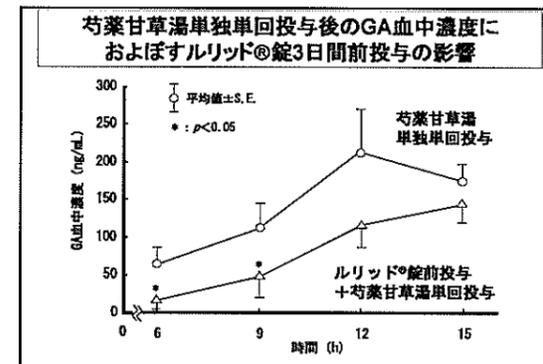
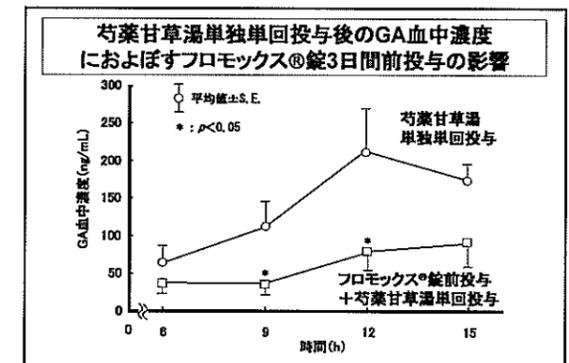
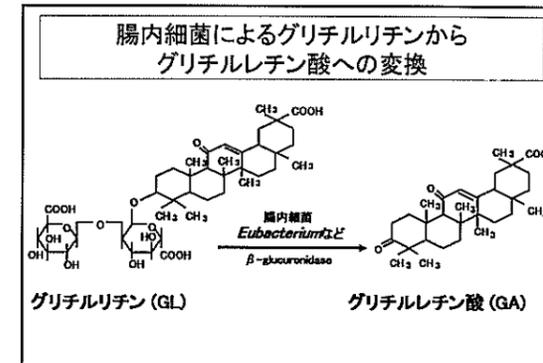
腸内細菌によって修飾を受けてから吸収されるので血中濃度のピークは6から12時間と上記の低分子成分に比し長いのが特徴である。

各生薬に含まれる配糖体

生薬	配糖体	代謝物	酵素	細菌
大黄	センノシド	レインアンスロン	β-グルコシダーゼ	Bifidobacterium
甘草	グリチルリチン	グリチルレチン酸	β-グルコシダーゼ	Eubacterium
黄芩	バイカリン	バイカレイン	β-グルコシダーゼ	広く分布
山梔子	ゲニポンド	ゲニピン	β-グルコシダーゼ	Klebsiella Pneumoniaなど
人参	ジンセノシドRb1	コンパウンドK	β-グルコシダーゼ	Eubacterium
柴胡	サイコサポニン	サイコサポゲニン	フコシダーゼ	Eubacterium
地黄	アウクビン	アウクビゲニン	β-グルコシダーゼ	Bifidobacterium

多糖成分

漢方薬を煎じた後に沈殿物として認められる(市販の漢方ドリンク剤にも含まれる)。
漢方薬の10-15%を占める。
作用機序の詳細は不明であるが、免疫賦活作用が強い。

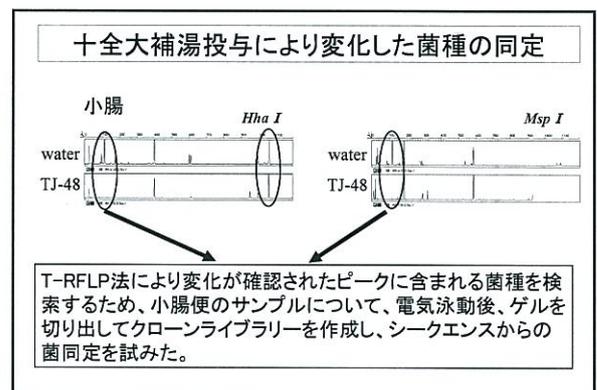
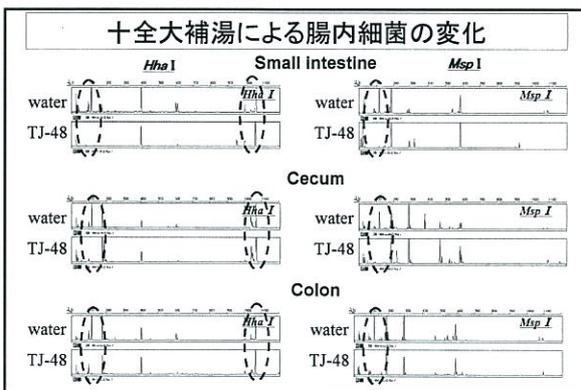
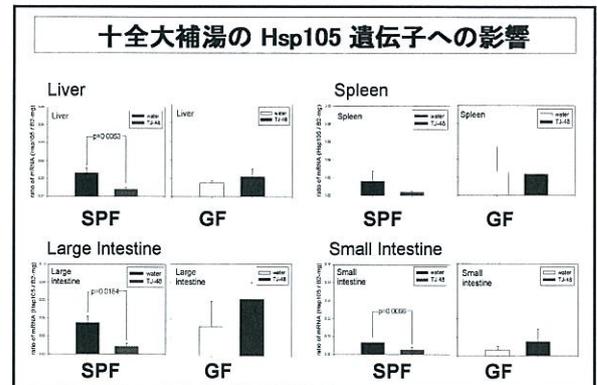


漢方薬と腸との微妙な関係



漢方薬には腸内細菌を
介して生体に働くこともある

プレバイオティクス
(プロバイオティクス)



十全大補湯投与により変化した菌種の同定

base	frequency (%)	bacterial strain or clone	homology (%)
	91.8	MC81C01	99-100
98 base and	5.9	MC82C09	99-100
115 base	2.4	<i>Bifidobacterium lactis</i>	97
1000 base	100	<i>Lactobacillus johnsonii</i>	99

体調を整えるにはまず胃腸から

先天の気 腎
後天の気 脾胃

漢方薬は内服するのが原則

胃腸を元気にすることは全身を元気にする